



広域水監第28号

平成28年9月30日

神奈川県内広域水道企業団

企業長 吉川 伸治 様

神奈川県内広域水道企業団

監査委員 川 副 英 二

同 長 坂 潔

平成27年度神奈川県内広域水道企業団水道用水供給事業会計
に係る資金不足比率審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第22条第1項の規定に基づき、
審査に付された平成27年度神奈川県内広域水道企業団水道用水供給事業会
計に係る資金不足比率等について審査したので、次のとおり意見を提出する。

平成 27 年 度

神奈川県内広域水道企業団
水道用水供給事業会計に係る
資金不足比率審査意見書

神奈川県内広域水道企業団

監 査 委 員

平成 27 年度神奈川県内広域水道企業団
水道用水供給事業会計に係る資金不足比率審査意見

第 1 審査の概要

1 審査の対象

平成 27 年度神奈川県内広域水道企業団水道用水供給事業資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の期間

平成 28 年 6 月 2 日から平成 28 年 7 月 29 日まで

3 審査の方法

企業長から提出された平成 27 年度神奈川県内広域水道企業団水道用水供給事業会計に係る資金不足比率が地方公共団体の財政の健全化に関する法律その他関係法令に基づいて算定され、かつ、その算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかについて審査した。

第 2 審査の結果

審査に付された下記、平成 27 年度神奈川県内広域水道企業団水道用水供給事業会計に係る資金不足比率は、法令の規定に基づいて算定され、かつ、その算定の基礎となる事項を記載した書類は、適正に作成されているものと認められた。

平成 27 年度決算における流動負債の額 57 億 8,769 万余円に対し、流動資産の額は 179 億 3,501 万余円となり、資金不足比率を算定すべき資金不足は生じていないため、経営健全化基準の 20% に照らして良好な状態にあると認められた。

記

	平成 27 年度	備 考
資金不足比率	(%) —	資金不足なし